

# 三重縣護國神社奉賛会報

第100号



令和三年度

三重縣護國神社奉賛会

## 『総会（書面表決）のご案内』

会員各位のご協力・ご奉賛をいただきまして、令和二年度も恙なく終了できましたこと、心より御礼申し上げます。

令和三年九月一日より新年度に入りました。

さて、当奉賛会では、例年この時期に総会を開催しておりますが、昨年同様に新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、**総会を書面表決**とさせていただきます。会員の皆様につきましては別紙書面表決資料をご確認の上お手数ですが返信葉書に各議案の賛否を記載いただき、ご署名・捺印の上**令和三年十月三十一日**必着にて返信をお願いいたします。

議案の可否につきましては、返信いただいた書面表決書のうち賛成が過半数を超えた場合に可決とさせていただきます。春の社報の発送とともに会員の皆様に報告させていただきます。何卒ご理解いただけますようお願いいたします。

また、総会に合わせて斎行している**奉賛会英霊遺徳顕彰祭**については**神職のみで斎行いたします。**

## 会費納入のお願い

新年度『令和三年度（令和三年九月一日～翌年八月三十一日迄）』に入りましたので、新年度会費を納入いただきますようお願い申し上げます。尚、納入の際は奉賛会専用の振込用紙をご利用下さい。

※送金手数料は奉賛会で負担いたします。

年度会費 正会員 二千元

特別会員 一万元

## 会員特典

- ・ 毎朝の日供祭、毎月の月次祭に、会員の皆様の無病息災、家内安全、事業繁栄をご祈願いたします。
- ・ 奉賛会英霊遺徳顕彰祭のご案内をいたします。（祭典終了後、奉賛会総会を開催いたします。）
- ・ 春秋例祭、万灯みたま祭のご案内をいたします。
- ・ 奉賛会特別祈願御守を授与いたします。
- ・ 会報をお送りいたします。

※入会ご希望の方は直接神社へお越しただくか、奉賛会事務局までお知らせ下さい。

## 三重縣護國神社奉賛会報

## 百号記念

三重縣護國神社奉賛会は、「三重縣護國神社の御英霊を奉慰奉賛することを以つて目的とする」との趣旨により、昭和六十一年一月十七日、当時の後藤藤太郎県議会議長をはじめ、県下を代表する各界著名人を発起人として発足いたしました。以来皆様方の御奉賛・御協力を経て、今日まで発展を続けて参りました。

また昭和六十一年四月一日に創刊されました三重縣護國神社奉賛会報も、今号で百号を迎えます。折しも三重縣護國神社においては、九月に祖霊社が御創始されたところであります。奉賛会報の百号記念といたしまして、祖霊社にまつわる神葬祭の歴史をご紹介します。

## 神葬祭について

## ―神道式のお葬式―

神道の作法によって行われる葬儀を「神葬祭」と言います。

葬儀というと、一般的には仏教の専門と思われるがちで、事実、現在の日本では仏教による葬儀が大半を占めています。しかし神葬祭は、仏教

伝来以前から行われていたことが『古事記』・『日本書紀』などの古典にも記されており、日本固有の歴史ある葬儀であつたことを物語っています。

神葬祭は厳かで儀式も分かりやすく、しかも質素な事から、今日では全国的に増加の傾向にあるようです。

## ―神葬祭の歴史―

神代から行われていた国風の葬儀については、『古事記』にみえるアメノワカヒコの葬儀などからうかがい知ることが出来ます。

我が国に仏教が伝わる前から行われていた神葬祭ですが、仏教伝来以降は、仏教による葬儀が急速に普及していきました。

大宝二年（七〇二）に行われた持統天皇の大喪（天皇の葬儀）から仏教の影響が強まり、つづく御歴代の天皇の葬儀もこれに倣つて行われるようになります。中世以降は、仏教の興隆とともに公家や武士にまで仏式の葬儀が広まりました。

江戸時代に入ると、徳川幕府がキリスト教の禁教とともに寺請制度を実施します。寺請制度は、すべての一般庶民を檀家として寺院に所属させる制度で、そのために仏式の葬儀

が広く一般にも定着することとなります。

そのような中、江戸時代の半ば頃になると、国学者や神職の中で日本古来の葬儀のあり方を見直す動きが起こります。これにともなつて、神葬祭の研究がさかんに行われるようになりました。

明治時代になると、神葬祭は一般にも認められるようになり、次第に全国へと広まつて行きました。

## ―神葬祭の式次第―

幕末の頃から、神葬祭についての次第書が多くまとめられるようになりました。

明治五年、教部省（当時の中央官公組織）より『葬祭略式』が発行され、ここに公定の神葬祭式次第が成立します。

現在の神社神道においては、主に神社本庁制定の『諸祭式要綱』並びに『神葬祭の栞』に則つて神葬祭が行われています。

神葬祭の式次第をおおまかにご紹介すると左記のようになります。

## ◇通夜祭

夜を徹して故人の御霊を慰めるお祭りです。

## ◇遷霊祭

霊璽（れいじ）という白木の「みしるし」に故人の御霊を遷し留めるお祭りです。

## ◇葬場祭（告別式）

故人と最後のお別れをするお祭りです。

## ◇発柩祭（出棺式）

柩を霊輿（れいよ）に移して、葬列を組み火葬場に向かう際のお祭りです。

## ◇火葬祭

火葬に付す際のお祭りです。

## ◇帰家祭並びに十日祭

葬儀を滞りなく執り納めたことを、霊前に奉告するお祭りです。

神葬祭は地域によって考え方が異なる場合があります、必ずしもこの限りではありません。ここでご紹介させていただいた例はあくまでも一般的なものであり、ここからさらにお祭りの追加、または省略がなされる場合もあります。

三重縣護國神社では、神葬祭のご相談を随時受け付けております。ご不明な点や、気になる点等ございましたら、お気軽に神社までお問い合わせください。